TIKKA XP® 2 *new*

ティカ XP 2

２種類の光源と開閉が簡単なワイドアングルレンズを持つ高機能モデルです。遠方を集光で照射する光と近距離を拡散光で照射する光を切り替えることができます。ハイアウトプット白色 LED と赤色 LED を搭載し、５つの照射レベルとモードがあります。白色 LED は最大レベルで光量 60 ルーメン、照射距離 60 m の光を放ちます。エコノミーレベルで消費電力を抑えれば照射時間を長くすることができます（最大 160 時間）。
赤色 LED は夜間視力を維持するために使用したり、点滅モードで自分の位置を知らせるセーフティライトとして使用したりすることができます。リチウム電池を使用できるので、更なる軽量化や低温下での使用にも対応します。

製品番号：E99 PG - E99 PI
保護性能：IP X4（全天候型）
重量：88 g（電池含む）
光束：60 ルーメン
最長照射距離：60 m
最長照射時間：160 時間
ヘッドランプのスペック詳細は www.petzl.com でご覧いただけます

• 遠方を集光で照射する光と近距離を拡散光で照射する光を切り替えることができる、スプリング付きのワイドアングルレンズ

• 白色光（最大、エコノミー、点滅）
赤色光（連続点灯、点滅）

MYO® XP BELT

ミオ XP ベルト

『ミオ XP』のセパレート式バッテリーケース付バージョンです。頭部にかかる重量を 75 g に軽減し、電池を低温から保護します。多様な使用環境に対応する機能を備えています： 強力なハイアウトプット LED、ワイドビームとスポットビームを切り替えるためのワイドアングルレンズ、３段階の照射レベル、自分の位置を知らせるための点滅モード、150 ルーメンのブーストモード、バッテリーインジケータ。ヘッドランプとバッテリーケースは簡単なコネクターシステムで接続するため、電池の交換も素早くできます。

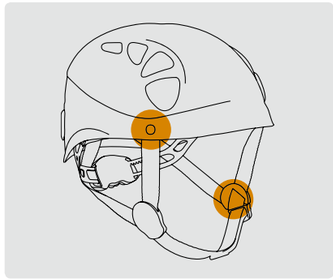
製品番号：E84 P2
保護性能：IP X4（全天候型）
重量：220 g（電池含む）、頭部への重量 75 g
光束：85 ルーメン
最長照射距離：72 m
最長照射時間：180 時間
ヘッドランプのスペック詳細は www.petzl.com でご覧いただけます

その他のマウンテニアリングギア：

- 『アルティオス』ヘルメット
- 『アスピル』調節型ハーネス
- 『スピリット』カラビナ
- 『レーザー』アイススクリュー
- 『アイスフルート』アイススクリューホルダー
- **『キャリツール』ハーネスに取り付けるツールホルダー**
- 『タービン』アイススクリュークランク
- 『マルチフック』多目的フック
- 『ハンドフック』アイスフック
- 『グラディステップ』軽量5ステップエトリエ
- 『スタノー』ダイニーマスリング
- 『アッセンション』ハンドル付アッセンダー
- 『スパサ』カラビナホール付ナイフ
- 『ファキール』クランポン用キャリーバッグ
- 『イーライト』エマージェンシーヘッドランプ
- 『スノーチューブ』スノーアンカー
- **『タイブロック』コンパクトなエマージェンシーアッセンダー**
- **『スノースコピック』トレッキングポール / アイスアックス**

全製品のリストは140〜154ページにあります。

テクニカルインフォメーション - ギアの点検 -



ヘルメット

落石に遭った時や墜落で頭が下になった時、頭部を保護するヘルメットのありがたみが分かります。ヘルメットがその役割を果たすためには、状態が良く、頭部にフィットしている必要があります。
毎回、使用前に以下の確認を行って下さい：
- シェルの状態（外側にも内側にも衝撃を受けた跡、割れ目、変形がない）
- ヘッドバンドのアタッチメントシステム（ヘッドバンドの調節機能及びあご紐のバックルの動作確認）

ヘルメットを傷める恐れがあるので、ヘルメットの上には座らないようにします。

警告： 大きな衝撃を受けた後は、目視では確認できない内部に生じた損傷により、ヘルメットの保護機能（衝撃吸収力、強度）が大きく低下する場合があります。大きな衝撃を受けた後は、製品を廃棄して下さい。

毎回、使用後に、各取扱説明書の説明に従って全ての装備を洗浄し、乾燥させます。

… www.petzl.com/ppe

ここに掲載した内容は全てを網羅するものではありません。各 PPE（個人保護用具）の詳しい点検方法については、それぞれの取扱説明書及び www.petzl.com/ppe を参照ください

テクニカルインフォメーション - 基本事項 -

1 計画は慎重に立てる

ルートのコンディションと天候について正確な情報を入手する必要があります。コンディションによって難易度は大きく変わります。登攀と下降のプランを立てます。自分のパーティーのレベルに合った計画を立てます。高所順応の計画も慎重に立てましょう。

2 適切な装備を選択

山では余分な重量は大敵です。ルートとコンディションを考慮し、必要な装備を考えます。途中で引き返す場合やレスキューが必要な時のための装備も準備します。例えば、氷河歩行の際にはクレバスレスキューキットを装備します。地図、コンパス、高度計、ヘッドランプは必携です。

3 状況に合わせてプロテクションをとります

山ではスピードが重要です。同時登攀をする時、岩等を利用して素早くプロテクションをとることができる場合は積極的に活用します（例： クラックにプロテクションをセットする、岩にスリングを巻きつける）。難しいセクションでは、充分に時間をかけて自分自身とパートナーの確保をとるようにします。ルート内の難しいセクションを考慮して、ビレイ点を決めるようにします。

4 引き返す判断

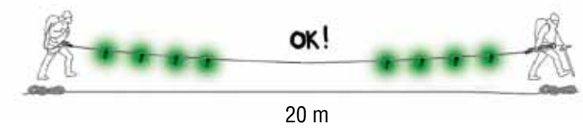
行動中は常に４つの要素を頭に入れておくようにします： 人員、天候、ルート、時間。これらの要素について分析し、続行するべきかどうかの判断をします。
例： パーティーの体力はどうか？ 天候及びルートコンディションは良いか？ ルートは厳しくないか？ 時間は充分あるか？

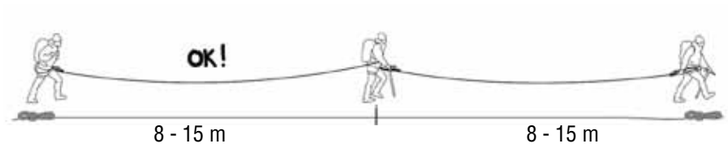
5 集中を切らさないように

簡単なセクションや下山の時も集中を切らさないようにする事が重要です。頂上はまだ折り返し地点なのです。中身を紛失したり、行動が遅くなったりすることがないように、ザックの中を常に整理することはとても重要です。ウェアの調節や食事、クランポンの付け外し、ロープのタイイン、ガイドブックの取り出しなどに時間をかけ過ぎないようにします。
ヒューマンエラーの可能性を常に考えて行動します。危険度の高いエリア（雪崩、落石、セラック、クレバス…）にいる時間をなるべく短くします。またそうしたエリアを集合地点に選ばないようにします。

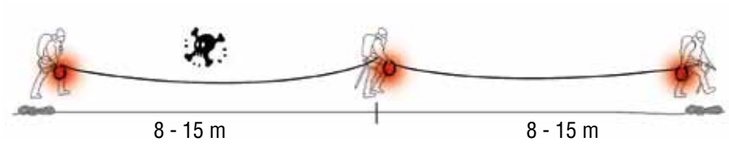
A. アンザイレン

クライマー間の距離



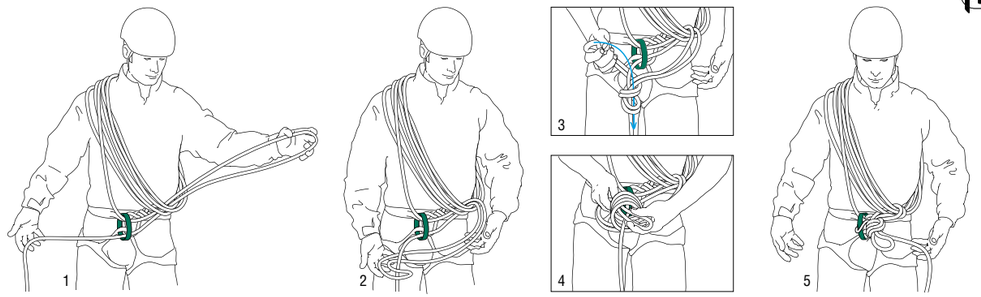


警告: ロープをまとめて手に持つことは危険です

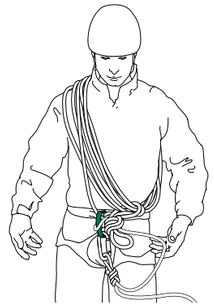


失敗に終わったマナスル頂上アタック、7450 m

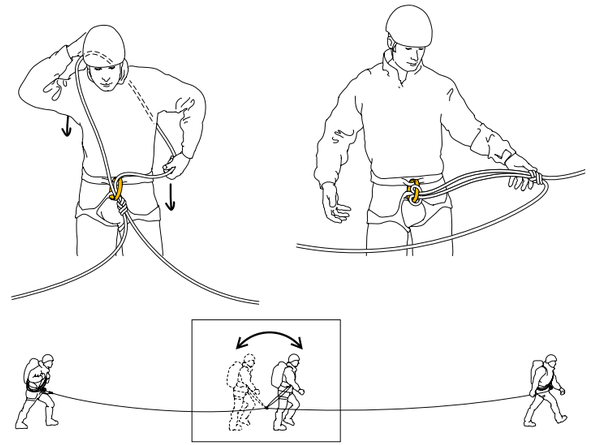
ショートロープ技術



荷重がハーネスに加わっていても肩に巻いたロープを解除できる方法: カウズテイルを使用



3人1組でのロープの結び方: 中間のクライマーの連結方法



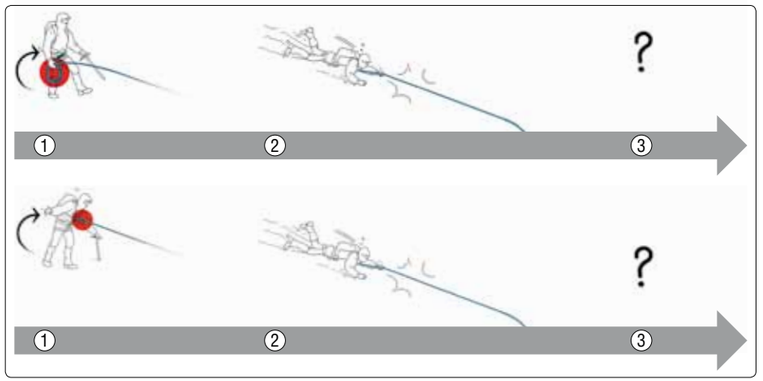
B. クレバスレスキュー

墜落の停止:

- 腹部への連結とタイトロープ技術 = OK

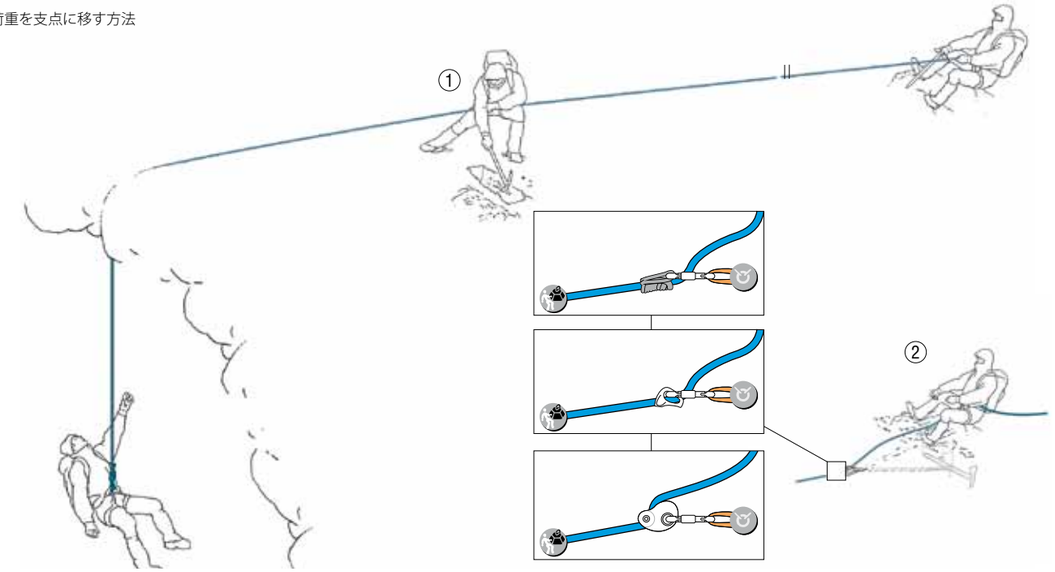
- ロープをループにして持つ = 危険

- 胸の位置にロープを連結 = 危険



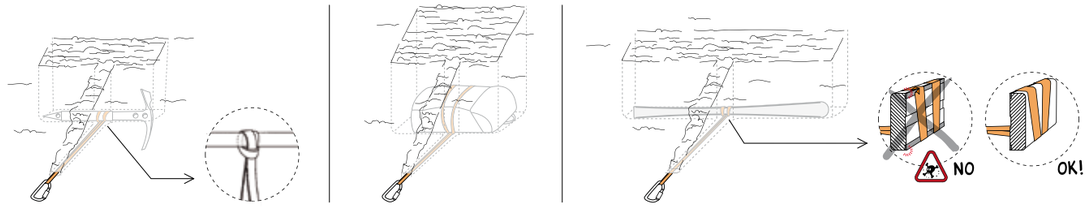
こちらに掲載した内容はすべてを網羅するものではありません。他の資やユーザーインストラクション、テクニカルマニュアルも参照ください。技術的なトレーニングも必ず行ってください。

荷重を支点に移す方法

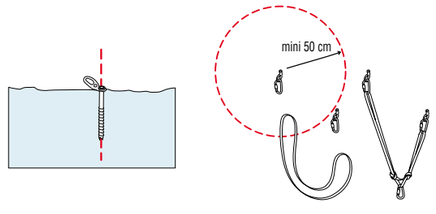


支点の例：

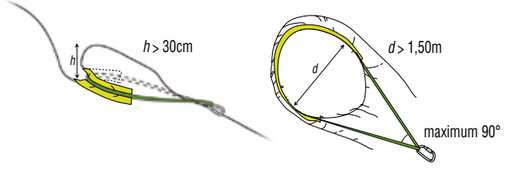
雪の場合



氷の場合



硬い雪の場合

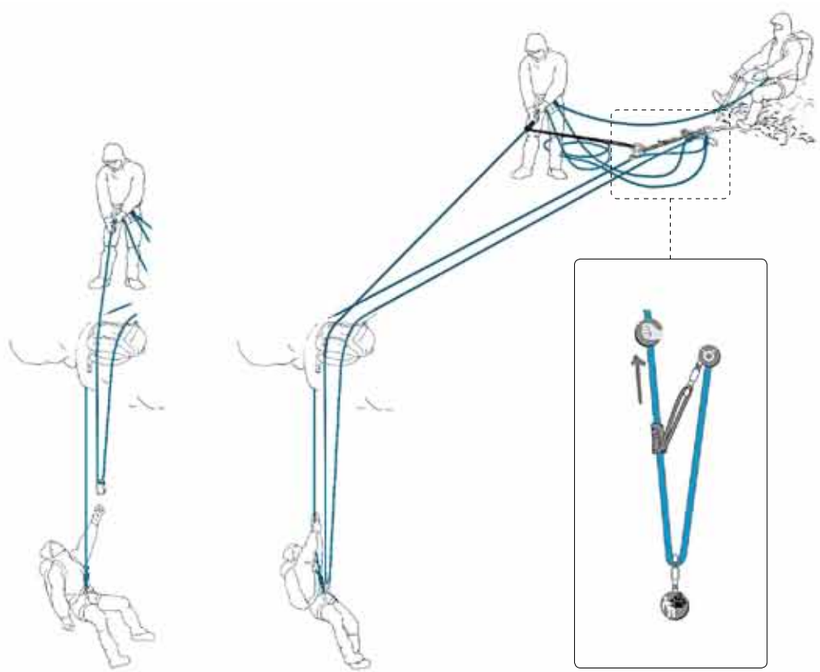


マナスル C3（6100 m）にて作戦会議をする
パウロ・グロベルとフィリップ・マオウ
© François Damilano

C. ホーリングシステム

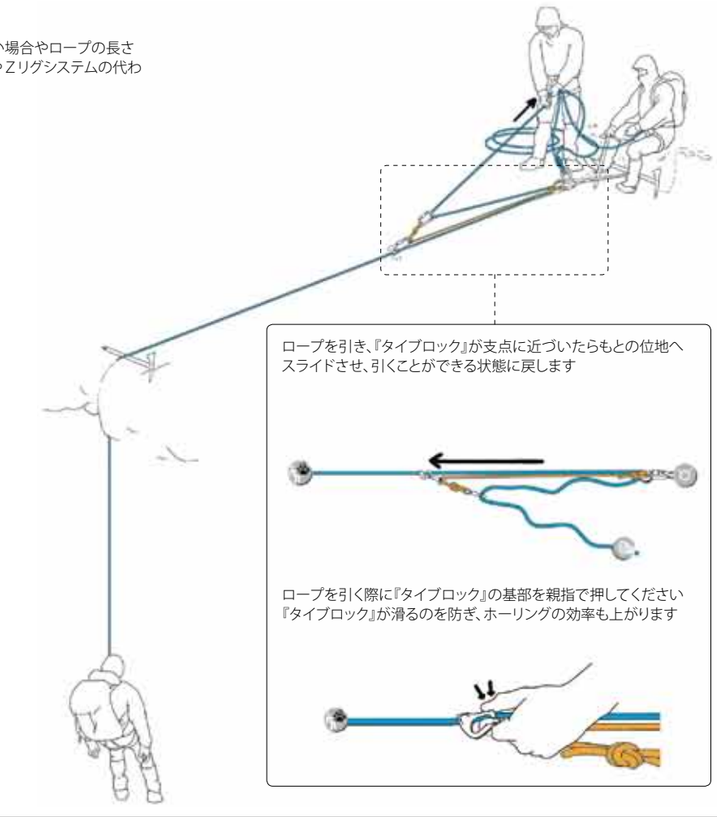
シンプルプーリーシステム

シンプルプーリーシステムは非常に効率的なシステムで、要救助者が動きのとれる場合に使用できます クレバスのエッジにロープが食い込んでしまった場合に有効な手段となります ロープの戻りを防止する器具等を引き上げる側のロープにセットする必要があります このシステムは充分な長さのロープを必要としますが、器具は最小限に抑えることができます



ダブルマリナーシステム

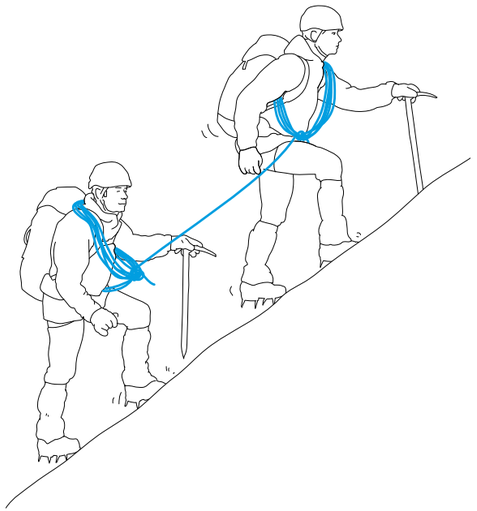
ダブルマリナーシステムは、要救助者の意識がない場合やロープの長さが充分でない場合に、シンプルプーリーシステムやZリグシステムの代わりに使用します



こちらに掲載した内容はすべてを網羅するものではありません。他の資やユーザーインストラクション、テクニカルマニュアルも参照ください。技術的なトレーニングも必ず行ってください。

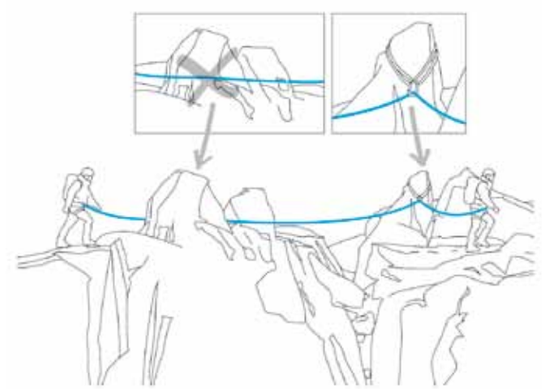
D. 簡単な雪の斜面の登攀

リードクライマーは、斜面の難易度に合わせてロープの長さを調節し、
常にセカンドよりも高い位置をキープします
リードとセカンドの間の距離は短く保ち、ロープにたるみができないようにします

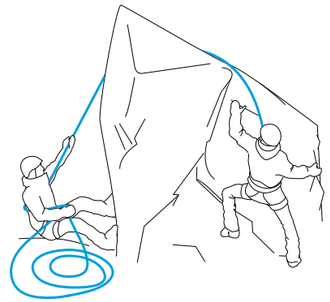


E. 稜線上の登攀

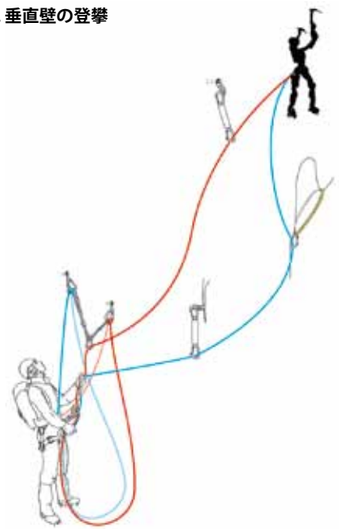
リードクライマーはプロテクションをセットします。ボルダーや岩の凹凸等を利用してプロテクションをセットします



難しいセクションでは、セカンドクライマーがリードクライマーをビレイします
リードが終わったら、リードクライマーがセカンドクライマーをビレイします

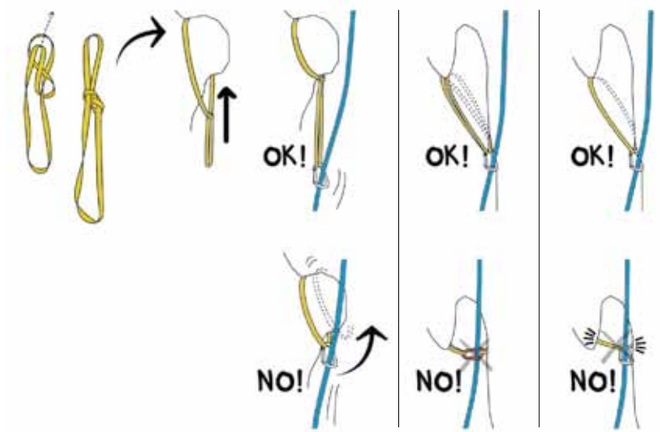


F. 垂直壁の登攀

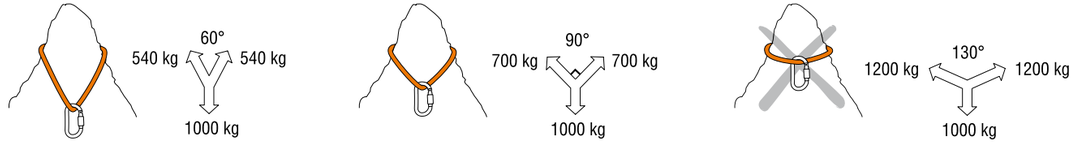


G. プロテクション

スリングは、外れないようにスリップノットをつくって取り付けます
設置物に合わせてスリングの長さを選択します



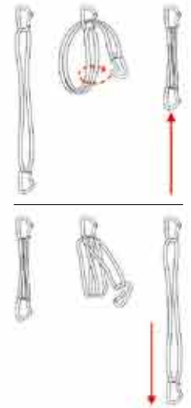
スリングの長さによる荷重の変化



ギアの持ち運び：

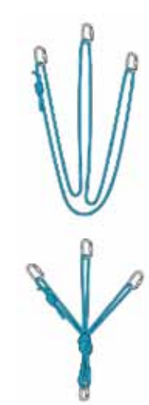
スリングのたすき掛け方法

伸縮可能なクイックドロー



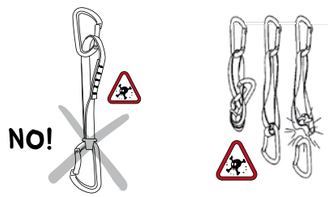
H. ビレイ点

荷重分散による支点の作成：ナッツ等を使用した場合

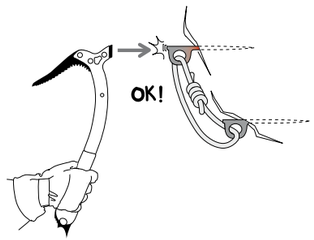


オポジション

スリングには『ストリング』を付けないで下さい



ビレイ点の残置ピトンはハンマーでしっかりと打ち込んで下さい
凍結と融解を繰り返すことにより、ゆるくなってしまうことがあります



すぐそこに見えて尚まだ遠い：ポール・プリンとピエロール・デュプイが遠くに見えるマナスル山頂を目指す

こちらに掲載した内容はすべてを網羅するものではありません。他の頁やユーザーインストラクション、テクニカルマニュアルも参照ください。技術的なトレーニングも必ず行ってください。